

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2013年10月6日聖日礼拝

---

### 使徒の働き連講①⑦

## 「神が住み給う所とは？」

使徒の働き 7章 1 - 6 節  
7章44-50節

竿代照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き 7章 1 – 6節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp218~/ 第三版の聖書はp238~

- 1 テオピロよ。私は前の書で、イエスが  
行い始め、教え始められたすべてのこと  
について書き、
- 2 お選びになった使徒たちに聖霊によって  
命じてから、天に上げられた日のことに  
まで及びました。
- 3 イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、  
彼らに現れて、神の国のことを語り、  
数多くの確かな証拠をもって、ご自分が  
生きていることを使徒たちに示された。

- 4 彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れな  
いで、わたしから聞いた父の約束を待ち  
なさい。
- 5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、  
もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテ  
スマを受けるからです。」
- 6 そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、  
イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、  
イスラエルのために国を再興してくださる  
のですか。」

# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き 7章44 – 50節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp221~/ 第三版の聖書はp241~

44 私たちの父祖たちのためには、荒野にあかしの幕屋がありました。それは、見たとおりの形に造れとモーセに言われた方の命令どおりに、造られていました。

45 私たちの父祖たちは、この幕屋を次々に受け継いで、神が彼らの前から異邦人を追い払い、その領土を取らせてくださったときには、ヨシュアとともにそれを運び入れ、ついにダビデの時代となりました。

- 46 ダビデは神の前に恵みをいただき、  
ヤコブの神のために御住まいを得たい  
と願い求めました。
- 47 けれども、神のために家を建てたのは  
ソロモンでした。
- 48 しかし、いと高き方は、手で造った家には  
お住みになりません。預言者が語っ  
ているとおりです。

- 49 『主は言われる。天はわたしの王座、  
地はわたしの足の足台である。  
あなたがたは、どのような家をわたしの  
ために建てようとするのか。わたしの  
休む所とは、どこか。
- 50 わたしの手が、これらのものをみな、  
造ったのではないか。』



# 説教

## 使徒の働き連講①⑦ 「神が住み給う所とは？」

使徒の働き 7章 1～6節  
7章44～50節

竿代照夫 牧師



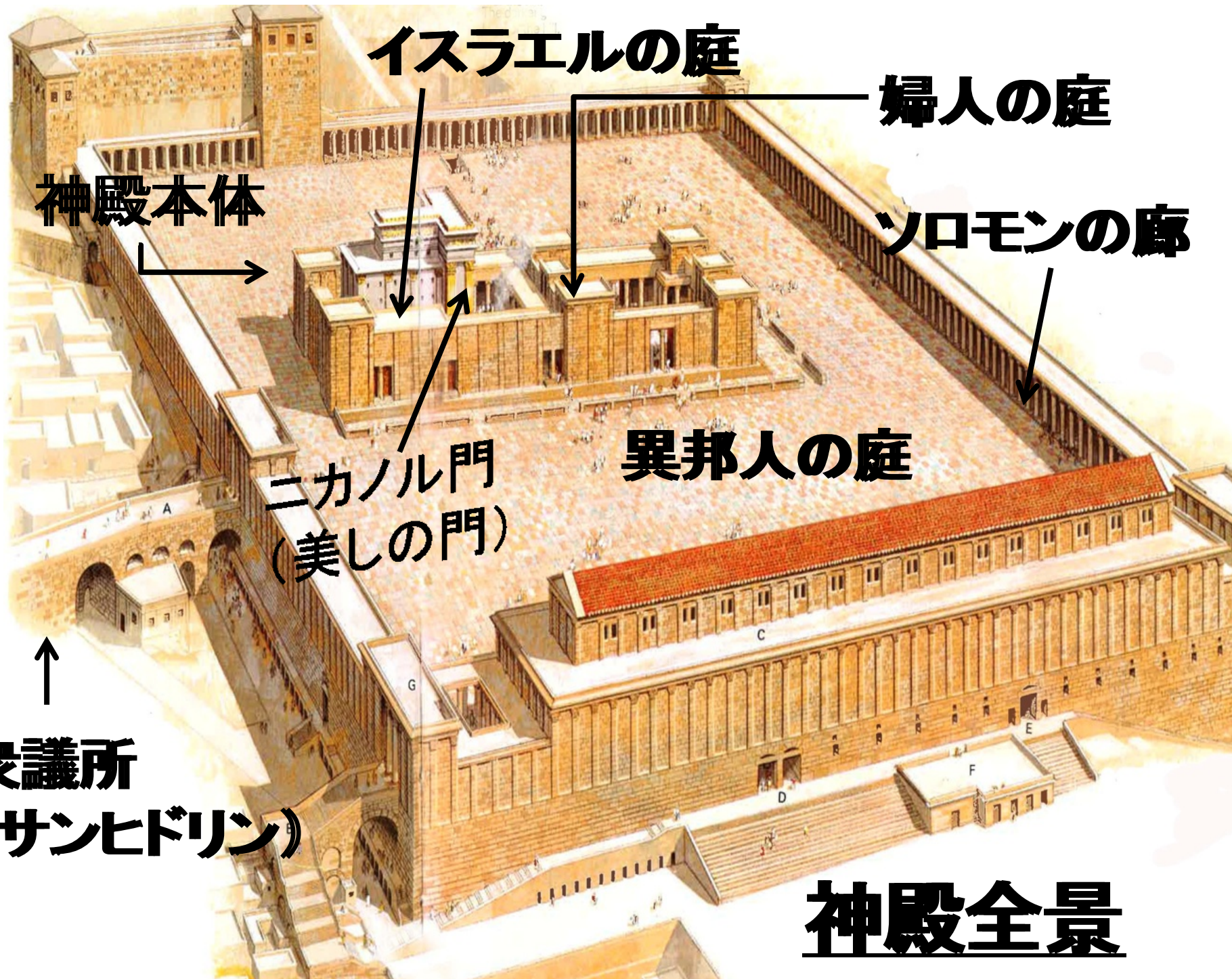
## 主テキスト

「いと高き方は手で造った家にはお住みになり  
ません。」

(使徒6:48)

## 復習:

- 知恵と御霊によって語るステパノ(6:10):  
聖書の総合的理解と御霊の洞察力
- ステパノ、サンヒドリン議会に引き出される  
(イラスト参照): 彼への訴えは
  - ① モーセの律法の無視;
  - ② 神殿破壊の主張  
(6:14)
- ステパノの輝き: 御使いのよう!(6:15)



イスラエルの庭

婦人の庭

神殿本体

ソロモンの廊

ニカノル門  
(美しの門)

異邦人の庭

衆議所  
(サンヒドリン)

神殿全景

A. 大祭司の質問(1節):「そのとおりか？」

B. ステパノの答え(2-50節)

1. 父祖達の時代を振り返る(2-8節)

- ステパノの呼びかけ(2節): 親しさと共通性を強調
- ステパノの論法: イスラエル歴史を通して、神の存在が特定の場所に限られない事実を強調
- 巡礼者であった父祖達(2-5節)

## 2. エジプトにおけるイスラエル(9-19節)

- ・ヨセフの兄弟達の迫害(9-10節)

≡キリストを迫害した人々

## 3. 若き日のモーセ(20-29節)

- ・同胞救済に立ち上がったモーセ

(23-24節) ≡天の栄光を棄てて世に  
来られたキリスト

- ・同胞に拒否されたモーセ(25、27節)

≡同胞に拒絶された主イエス

#### 4. モーセの召命(30-34節)

- ・モーセが神に召される(30、34節):  
神に立てられた指導者への尊敬
- ・「聖なる場所」(33節):どんな場所も、  
主の臨在の故に「聖い」

#### 5. 荒野での放浪(35-43節)

- ・救出者モーセが、メシヤを預言  
(37節、申命記18:15)
- ・モーセに対するイスラエルの反逆  
(39-40節)≡主イエスへの反逆

## 6. 幕屋と神殿(44-50節)

- ・礼拝の場所についての議論(43節): 幕屋は神の臨在の証し

- ・移動可能な礼拝所(45節) vs 礼拝所の恒久化

- ・神の偉大さと普遍性

①ソロモン自身のことば:「神ははたして地の上に住まわれるでしょうか。実に、天も、天の天も、あなたをお入れすることはできません。まして、私の建てたこの宮など、なおさらのことです。」

(1列王8:27)



②イザヤのことば

(49－50節、イザヤ66:1－2)

③神殿は、絶対視・神聖視されるべきではない

- ・神の住まわれる所:「へりくだって心砕かれ、わたしのことばにおののく者」

終わりに

私たちの心が神殿(2コリント6:16)